



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社 T Y K

上場取引所 東

コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牛込 伸隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北原 譲

TEL 0572-22-8151

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,480	9.2	1,931	0.0	1,970	4.9	797	32.3
2019年3月期第2四半期	13,257	18.4	1,931	55.3	2,073	42.7	1,178	33.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,056百万円 (24.2%) 2019年3月期第2四半期 1,392百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.95	
2019年3月期第2四半期	26.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	41,954	31,859	66.9	635.75
2019年3月期	41,690	31,202	66.2	618.41

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 28,053百万円 2019年3月期 27,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		4.00	9.00
2020年3月期		3.00			
2020年3月期(予想)				3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,780	1.5	3,030	12.0	3,170	13.6	1,480	27.3	33.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	45,477,000 株	2019年3月期	45,477,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	1,350,621 株	2019年3月期	850,571 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	44,447,367 株	2019年3月期2Q	44,626,686 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国の経済情勢は、雇用・所得環境改善により緩やかな回復基調で推移してきたものの、製造業において景況感悪化が見られました。海外においても、米国での良好な所得環境を背景とする個人消費回復が続いている一方で、製造業景況感指数の悪化、米中通商摩擦や中国の景気停滞感などの経済における下押し圧力のほか、欧州での英国EU離脱問題、中東・朝鮮半島における地政学リスクなど不確実な状況は継続するものと考えられます。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります国内鉄鋼業界におきましては、当第2四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前年同期比3.0%減の5,067万トンとやや低調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質第一の考えをもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んでまいりました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術においても、コスト削減など経営合理化を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、当第2四半期後半に若干減少したものの、主要顧客であります製鋼メーカー向け耐火煉瓦及び不定形耐火物等や新素材関連商品の堅調な売上に支えられ、144億80百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

利益面では、昨年度末まで続いておりました原材料の調達コストの高騰は落ち着きましたが、それら備蓄した原材料の使用による原料費や減価償却費等の負担増加などの影響で、採算性が悪化、売上原価が前年同期に比べ11億21百万円(前年同期比12.0%)増加したことにより、営業利益は前年同期とほぼ同額の19億31百万円となりました。

経常利益は、主に保有する有価証券の配当金が増加したことにより、受取配当金が前年同期比で8百万円増加したものの、為替に関しては前第2四半期連結累計期間は為替差益11百万円を計上しておりましたが、前年同期に比べ円高傾向であったため、当第2四半期連結累計期間は為替差損96百万円を計上するに至り、経常利益は19億70百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億97百万円(前年同期比32.3%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

①日本

国内の売上高は111億9百万円(前年同期比9.1%増)となりました。国内顧客向け販売は、引き続き耐火物業界全般より引き合いをいただいておりますが、当第2四半期連結会計期間には原材料費や減価償却費等の負担が増加し、セグメント利益は19億7百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

②北米

北米の売上高は11億56百万円(前年同期比2.7%減)となりました。当第2四半期連結会計期間後半の売上が伸びなかったことと売上原価の上昇を受け、セグメント損失は9百万円(前年同期は42百万円の利益)となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高は16億90百万円(前年同期比15.2%増)となりました。一方、セグメント利益は売上原価の上昇を受け、1億81百万円(前年同期比3.1%増)にとどまりました。

④アジア

アジアの売上高は2億67百万円(前年同期比1.6%減)となりました。また、セグメント利益は22百万円(前年同期比115.5%増)となりました。

販売は微減となりましたが、販売構成の変化により利益は増加しております。

⑤その他

その他の売上高は2億56百万円(前年同期比78.9%増)となりました。また、セグメント利益は83百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、4億89百万円増加し、256億85百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加(7億27百万円)、受取手形及び売掛金の減少(3億40百万円)によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、2億24百万円減少し、162億68百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の減少(3億21百万円)によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、3億92百万円減少し、100億95百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(1億48百万円)、未払法人税等の減少(1億11百万円)、損害補償損失引当金の減少(1億9百万円)によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、6億56百万円増加し、318億59百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加(6億19百万円)、非支配株主持分の増加(2億円)、自己株式の取得による減少(1億46百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,914,757	8,641,830
受取手形及び売掛金	8,808,057	8,467,318
製品及び外注品	3,522,135	3,881,877
仕掛品	1,573,739	1,528,588
原材料及び貯蔵品	3,282,913	3,021,353
その他	117,997	170,480
貸倒引当金	△22,867	△25,456
流動資産合計	25,196,733	25,685,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,044,927	2,036,323
窯炉、機械装置及び運搬具(純額)	2,423,636	2,484,940
土地	4,806,214	4,801,072
その他(純額)	458,205	537,057
有形固定資産合計	9,732,984	9,859,393
無形固定資産	57,836	56,283
投資その他の資産		
投資有価証券	6,209,764	5,888,495
長期貸付金	6,130	980
繰延税金資産	369,664	346,944
その他	193,226	192,549
貸倒引当金	△75,869	△75,647
投資その他の資産合計	6,702,915	6,353,322
固定資産合計	16,493,736	16,268,999
資産合計	41,690,470	41,954,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,789,159	1,640,510
短期借入金	3,967,659	3,911,575
未払法人税等	651,827	540,574
賞与引当金	523,968	541,140
損害補償損失引当金	109,251	—
その他	1,049,925	1,025,692
流動負債合計	8,091,792	7,659,492
固定負債		
繰延税金負債	486	833
役員退職慰労引当金	745,373	758,357
退職給付に係る負債	1,594,264	1,621,490
その他	55,716	55,412
固定負債合計	2,395,841	2,436,094
負債合計	10,487,633	10,095,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,462,007	2,462,007
利益剰余金	21,971,988	22,591,215
自己株式	△164,039	△310,666
株主資本合計	26,667,956	27,140,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,091	1,172,625
繰延ヘッジ損益	593	—
為替換算調整勘定	△167,263	△260,050
その他の包括利益累計額合計	929,421	912,574
非支配株主持分	3,605,458	3,806,274
純資産合計	31,202,836	31,859,404
負債純資産合計	41,690,470	41,954,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	13,257,398	14,480,130
売上原価	9,322,276	10,443,722
売上総利益	3,935,122	4,036,407
販売費及び一般管理費	2,003,713	2,105,368
営業利益	1,931,408	1,931,038
営業外収益		
受取利息	3,063	2,106
受取配当金	90,695	98,759
不動産賃貸料	39,200	38,851
為替差益	11,301	—
その他	18,346	22,897
営業外収益合計	162,606	162,615
営業外費用		
支払利息	15,085	17,352
不動産賃貸原価	5,664	5,583
為替差損	—	96,968
その他	179	3,050
営業外費用合計	20,929	122,955
経常利益	2,073,085	1,970,699
特別利益		
固定資産売却益	834	807
投資有価証券売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	2,500	—
損害補償損失引当金戻入額	—	109,251
特別利益合計	3,337	110,058
特別損失		
固定資産廃棄損	19,485	25,585
投資有価証券売却損	—	104
投資有価証券評価損	—	442,850
ゴルフ会員権評価損	1,000	—
損害賠償金	—	14,975
特別損失合計	20,485	483,515
税金等調整前四半期純利益	2,055,937	1,597,242
法人税等	614,952	499,454
四半期純利益	1,440,985	1,097,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	262,894	300,055
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178,090	797,732

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,440,985	1,097,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135,398	77,372
繰延ヘッジ損益	△3,801	△593
為替換算調整勘定	91,170	△118,351
その他の包括利益合計	△48,029	△41,573
四半期包括利益	1,392,955	1,056,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,113,032	780,885
非支配株主に係る四半期包括利益	279,923	275,330

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,055,937	1,597,242
減価償却費	388,749	505,206
有形固定資産廃棄損	19,485	25,585
有形固定資産売却損益(△は益)	△834	△807
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	104
投資有価証券評価損益(△は益)	—	442,850
ゴルフ会員権評価損	1,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	857	3,188
賞与引当金の増減額(△は減少)	60,824	17,647
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	—	△109,251
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57,732	28,806
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,935	12,984
受取利息及び受取配当金	△93,758	△100,866
支払利息	15,085	17,352
為替差損益(△は益)	14,909	12,384
売上債権の増減額(△は増加)	△1,050,037	212,003
たな卸資産の増減額(△は増加)	△774,067	△126,634
仕入債務の増減額(△は減少)	70,569	△66,159
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,010	△56,016
その他	△55,229	110,013
小計	754,167	2,525,631
利息及び配当金の受取額	93,715	100,901
利息の支払額	△15,085	△17,352
法人税等の支払額	△442,311	△623,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,486	1,985,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	288,557	18,000
定期預金の預入による支出	△99,291	△123,695
有形固定資産の売却による収入	838	17,172
有形固定資産の取得による支出	△897,737	△748,269
投資有価証券の売却による収入	4	109
投資有価証券の取得による支出	△342,012	△10,534
貸付金の回収による収入	250	5,348
貸付金の実行による支出	—	△198
その他	274	△7,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,049,116	△849,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	29,997	△50,002
自己株式の取得による支出	△40	△146,627
配当金の支払額	△222,378	△178,050
非支配株主への配当金の支払額	△56,566	△73,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,987	△448,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,654	△59,941
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△881,962	627,377
現金及び現金同等物の期首残高	7,098,751	6,845,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,216,788	7,473,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第2四半期連結累計期間において自己株式が146百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が310百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,186,265	1,188,494	1,467,397	271,954	13,114,111	143,286	13,257,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,421,081	—	60,890	15,087	1,497,058	543,055	2,040,113
計	11,607,346	1,188,494	1,528,288	287,041	14,611,170	686,342	15,297,512
セグメント利益	1,916,973	42,719	176,002	10,217	2,145,913	64,346	2,210,259

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,145,913
「その他」の区分の利益	64,346
セグメント間取引消去	△56,231
全社費用(注)	△222,620
四半期連結損益計算書の営業利益	1,931,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,109,660	1,156,048	1,690,498	267,614	14,223,823	256,307	14,480,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,550,640	1,419	47,638	90,565	1,690,263	566,696	2,256,959
計	12,660,301	1,157,468	1,738,137	358,180	15,914,086	823,003	16,737,089
セグメント利益又は損失(△)	1,907,869	△9,763	181,475	22,017	2,101,598	83,399	2,184,997

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,101,598
「その他」の区分の利益	83,399
セグメント間取引消去	△27,354
全社費用(注)	△226,604
四半期連結損益計算書の営業利益	1,931,038

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下「本制度」という。)の導入を決議いたしました。詳細につきましては今後決定いたします。

なお、「本制度」の概要につきましては、本日発表いたしました「『株式給付信託(従業員持株会処分型)』の導入に関するお知らせ」をご覧ください。